

## どんな鳴き声でしょう

～日本、タイ、アメリカの動物の鳴き声をくらべてみよう～

5年 外国語活動  
「外国語に親しもう」  
資料の活用・読書活動

ねらい

○3カ国の動物の鳴き声を聞き比べる活動によって、日本との違いや、それぞれの国の文化や習慣に興味をもつことができる。

○日本とは違う国の絵本に親しみをもち、そのおもしろさに気づくことができる。

### 学 習 展 開 . . . . .

- ① 日本の動物の鳴き声について発表させる。
- ② タイとアメリカでは、動物たちはどんな鳴き声をするのか予想させ、興味をもたせる。
- ③ 絵本を読み聞かせを聞く。
- ④ 感想を発表しあう。



司書教諭が絵本の読み聞かせをしている様子

### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は教員と相談して、動物の鳴き声が出てくる絵本の準備を行う。学校に蔵書がなければ、市町村の図書館と連携して本を揃える。
- 司書教諭と担任は、読み聞かせをする際のそれぞれの担当について、事前に話し合っておく。
- 学校司書は、紹介した本の同じ作者（EricCarle）の本を用意しておく。児童の外国語や、その絵本への興味を高めることができるようにする。

### ★指導のポイント

- ◆ 外国の文化への親しみをもちさせることができる活動なので、外国語活動のどの単元でも活用できる。
- ◆ “The Very Busy Spider“ は、児童が知らない言葉も多く出てくるので、T2である学級担任が児童の言葉を引き出し、内容を理解できるように支援する。

### 資料

“The Very Busy Spider”（偕成社） “THE VERY HUNGRY CATERPILLAR”（偕成社）  
“Brown Bear, Brown Bear, What do you see?”（偕成社）  
「しーっ ぼうやがおひるね しているの」（偕成社）